



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 D-2700 No. 28 2024年5月10日

小倉ロータリークラブ 週報

R I テーマ：“世界に希望を生み出そう”

R I 会長：ゴードンR. マッキナリー 氏
(所属：スコットランド/サウス・クイーンズフェリー-RC)

地区テーマ：“ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう”

地区ガバナー：吉田 知弘 氏(所属：福岡東 RC)
クラブテーマ：“原点を回帰しながら、活動を広げよう”

会長 松本 篤／幹事 宮島 俊司



表紙写真(東京・渋谷駅周辺の再開発模型と風景)

現在、東京で一番変貌を遂げているのが渋谷です。写真の大きなビルは、渋谷駅の新たなランドマーク「渋谷スクランブルスクエア」。屋上が庭園になっており、360° 東京の眺望を楽しめます。

【撮影：上野 禮一 会員／東京にて／令和6年4月】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093(531)1121

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL(531)1727 FAX(522)4333

クラブ会報委員会 委員長：藤澤 修司 副委員長：合馬 誠一

委 員：甲木 正子、青木 輝英、安田 裕一、森 結実子、瓜生 資識、林田 秀樹

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

《報告に関して、敬称略》

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com



本日の例会 第3592回

- 国歌斉唱
 - ロータリーソング “奉仕の理想”
 - 青少年関係の卓話
- 第2700地区青少年奉仕委員会 副委員長
河野 一郎 氏

会長の時間

松本 篤 会長

私は、これまでに数回程度、会長の時間を利用して当クラブの財団グローバル補助金を活用したプロジェクトへの取り組みについてご報告してきました。しかしながら、限られた時間でもあり、会員の皆さんにはなかなか具体的な内容が伝わらなかったかと思います。本日のクラブ・フォーラムでは、テーマをズバリ「財団プロジェクトへの取り組み」として、時間をかけてプロジェクトの骨子をご説明し、さらに各グループに分かれて討論していただき、疑問点やご意見を取りまとめて発表いただくことにより皆さんの理解を深めていただきたいと思っております。このクラブ・フォーラムのために、昨日ザンビアから帰国したばかりの川原名誉会員もお忙しい合間に縫ってご出席いただきました。会員の皆さんにおかれましては、忌憚のないご意見やご質問を積極的にご発言くださいますようよろしくお願ひいたします。

第3591回 例会 記録

4月26日(金) 夜間例会

- ロータリーソング “我等の生業”
- クラブ・フォーラム



幹事報告

宮島 幹事

既にご案内のとおり、5月19日(日)に清掃登山例会を開催します。門司港駅から風師山までを清掃し、山頂にて、関門海峡を眺めながらお弁当を食べます。ご家族やお仲間をお誘いのうえ、奮ってご参加ください。

出席報告

上野 委員長

※下線が発表者、下線が進行者

2023年7月7日：66名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ	出席率
当日の出席	69名	26名	—	44.07%
先週の出席	69名	51名	14名	93.85% 修正後

- ◆ゲスト 0名
- ◆ビジター 8名（サインのみ）
- ◆名誉会員 1名
- ・川原 尚行 氏

ニコニコ献金

野嶋 副 SAA

2,000円：累計金額 447,380円

松本 篤君

4月21日恒例の平尾台トレラン17kmに参加しました。練習不足とレース途中からの雨でヘトヘトでした。年のせいにはしたくないなあ…。

クラブ・フォーラム

司会 宮島 幹事

テーマ『財団プロジェクトへの取り組み』

現在構想中の“ロータリー財団グローバル補助金を利用するプロジェクト”について、具体的な内容説明および意見交換をしたいと思います。



A テーブル

松本、青木、小島(庸)、地久里、豊川、二村、藤嶋



・具体的な実行内容には、まだなっていないので、事業計画を作つてから申請すべきでは。

・死亡率を下げるというのは素晴らしい取り組みだが、いかに持続可能にするか検討が必要。

・継続には、エジプト側の体制や組織がどう考えているのかが重要である。少し立ち止まってニーズを見極めてもいいのではないか。（日本側がお金を出すというだけではうまくいかない）。



B テーブル

増田、瓜生、加藤、高山、濱田、川原



- ・他地区や政府にも協力を仰いではどうか。
- ・三重の事例を参考にしてみては。



まとめ

松本会長

本日は長時間にわたり議論いただきありがとうございました。私を含む準備委員会は、半年以上にわたり川原会員のサポートを受けながら関係団体との意見交換を重ね、財団のグローバル補助金の授与と受諾の条件をはじめとする申請プロセスについて研究を重ねてまいりました。発表の中でもご意見をいただきましたが、このプロジェクトの申請承認をゴールに位置づけたとしても、現時点での登山に例えた立ち位置は3合目から4合目に差し掛かったところで、やっとゴールまでの道程が見えてきたところです。ただ、このプロジェクトの趣旨や骨格（または方向性）を多くの会員の皆さんと共有することがこのクラブ・フォーラムの一番の目的でしたから、その目的は果たせたのかなと考えています。

これからは、九州大学のみならず、エジプトのアインシャムス大学やギザ・メトロポリタンRCとコンタクトを深めて、価値のあるプロジェクト実施に向けて慎重かつ着実に準備を進めていきたいと考えております。引き続き会員の皆さんのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

C テーブル

宮島、上野、甲木、杣、野嶋、森、八尋

- ・エジプトとの交流もはかり、第2700地区初めてのプロジェクトを成功させたい。
- ・AIを導入できるよう、他クラブにも声をかけてお金を集めてはどうか。
- ・病理医を養成するために、誰が指導に当たるのか知りたい。



D テーブル

佐竹、天ヶ瀬、遠藤、大迫、末廣、松永、鬼丸



- ・話は良いが、何年かかるのかなどゴールイメージ、スケジュールがよく分からない。
- ・小倉RCの関わり方がよく分からぬ。具体的に会員は何をすることになるのか。お金の支援が必要なのか。
- ・会員がエジプトに行く際、旅費をクラブから出すのか個人が出るのかはっきりさせておく必要がある。
- ・締結の際は、現地に行く必要があるのか。ZOOMで良いのでは。（ツアー？ニコニコ献金？）



月信デジタルブック

[2023-24]月信 5月号

下記 QR コードからアクセスされてください。



https://www.azusashoin.com/e-book/bookshelf_gesshin

次回例会予告

5月19日（日）奉仕例会

・春の清掃登山（門司港駅～風師山）

5月24日（金）普通例会

・ロータリーソング “我等の生業”

・地区研修・協議会報告